

## 松山市産コケ植物目録

関 太郎

〒738-0027 広島県廿日市市平良山手 3-26

Tarow SEKI(2012): **Species list of Bryophytes in Matsuyama City, Ehime Prefecture, Shikoku, Japan.** pp. 377-388. Edited by Committee for surveys of Natural Environment of Matsuyama. Checklist of the Wild Animals, Fungi, and Plants of Matsuyama City, 2012. Published by the Department of Environment, Matsuyama City.

**Abstract** — This report is the first check list of bryophytes from the area of the city. The list consists of a total of 231 species belonging to 130 species of Bryopsida(mosses), 98 species of Hepaticopsida(liverworts) and 3 species of Anthocerotopsida(hornworts).

文献と手稿を中心に松山市域から記録されているコケ植物のリストをまとめた。補完的に、愛媛県RDB改定調査(2011~12)で採集した標本も載録されている。松山市は町村合併によって、三坂峠(718m)から高縄山(986m)、明神ヶ森(1216m)の山々、さらに興居島・中島・二神島などの島嶼部を含む広範な地域になり、まだ十分に調査されていない所が多い。このリストには、セン類130種、タイ類98種とツノゴケ類3種が載録されている。当然あると思われる種で記録のないものが多く出てきた。それは、調査が不十分ということもあるが、地域のフロラの特徴をあらわしている場合もある。オオシラガゴケは野外でも容易に識別できる種であるが、標本がない。岩の大きく露出した地形が少ないので、スナゴケ属があまりない。松山市域には花崗岩が多いので、センボンゴケ科やクラマゴケモドキ科など結晶片岩に多い種が少ない。平坦な地形が少なく、湿地がないので、ミズゴケ属やヤナギゴケ科の種が出て来ない。近年、水田が宅地化され、アゼゴケやツノゴケモドキのような水田に依存している種が見つからない。今後、さらに調査を進めて、フロラの穴を埋めていきたい。

松山市域から報告されたもっとも古いコケ植物の文献は 井上(1896)(明治29年)である。井上は吉永虎馬氏(1871~1946)の旧姓で、Kamimura(1952)によれば、吉永氏は1890年頃から高知県で苔類の研究を始め、ドイツのF. Stephaniiに標本を送って、多数の新種を発見した。井上(1896)には、奥平幹一氏の採集した苔類が11種報告されている。下浮名郡三内村から3種、温泉郡湯山村から7種、松山市道後公園から1種である。三好(1985)によれば、奥平幹一氏(1870~1910)は松山中学に勤務、非常に熱心な研究者で、イワヤシダ(1898年発見)、エヒメアヤメ(1899)、イヨクジャク(1905)などを発見した。奥平氏と吉永氏は年齢も近く、親交があったものと思われる。

次に八木繁一(1928)『愛媛県植物誌』に、松山

市域から24種のコケ植物が載録されている。八木繁一氏(1893~1980)は愛媛県における植物研究の大御所的な存在であったが、コケ植物はとくに専門ではなかった。『愛媛県植物誌』には、緒方松蔵氏への謝辞が述べられているので、コケ標本の同定を受けたのかも知れない。緒方松蔵氏(1863~1944)は宮崎県出身で、南宇和郡で教職の傍ら、動植物を幅広く研究した。とくに、コケ植物には精通し、ツクシヒラツボゴケ(*Glossadelphus ogatae* Broth. & Yasuda)にその名が記念されている。得居(とくい)衛(まもる)氏は、1947年頃から愛媛県の苔類の研究を志し、服部新佐博士の指導を受けて、1951年に『The Hepatics of Ehime Prefectures』をまとめられた。この中には、松山市域から多数の苔類が記録され、重要な文献である。関は1949年から、コケ植物に興味を持ち、越智一男氏(県立西条高等学校)と得居衛氏(県立愛媛教育研究所)の指導を受けて、主に道後・伊台・湯山地域のコケ植物の研究をした。その成果の一部は関(1954b)にまとめられている。その後、松山市域のコケ植物について、まとまった研究はなされていない。

この度、愛媛県RDB改訂調査で、1950年代に調査した場所を訪れたが、開発や道路拡張によって絶滅したと思われる種[コアナミズゴケ、キセルゴケ]もあるし、環境はとくに変化していないのに激減した種[ヒロハシノブイトゴケ]などがある。とくに、湯山の音田谷は木の枝から糸のように垂れ下がるセン類と生きた葉の上に着くタイ類が多数あって、素晴らしい渓谷であった。しかし、現状は、わずかに葉上にカビゴケと枝上にヒロハシノブイトゴケとキヨスミイトゴケが見られるに過ぎない。これは、広島県宮島や鹿児島県屋久島でも同様で、着生コケ植物の激減は大気汚染によるものであろう。水中に生育するコケ植物も環境の変化に敏感で、八木(1928)の報告したカワゴケは、すでに1950年代に見つからなかったし、60年前には道後公園の池にたくさんあったイチヨウウキゴケも、現在では、まったく見られない。

凡 例

1. 種の配列及び学名は、主に、岩月善之助編(2002)『日本の野生植物 コケ』(平凡社)によったが、ナガハシゴケ科の取り扱いには Seki(1968)に準拠した。
2. 松山市を模式産地とする種は学名の後に「\*」をつけた。

Bryopsida 蘚綱

Sphagnaceae ミズゴケ科

1. *Sphagnum microporum* Warnst. ex Card. コアナミズゴケ 文献: Suzuki(1958) 東野;  
東野の一番池の上流の湿地で、1953年に、山本四郎氏によってミズゴケ属の1種が採集され、ミズゴケ属の専門家である広島大学の鈴木兵二博士に標本が送付されて本種と判明した。1956年に、山本氏と関は鈴木博士を現地に案内した。2012年5月29日に、関は現地を訪れたが、かつて湿地のあった所は不燃物処理場となり、一番池への流入河川の縁辺に少し湿地が残っていたが、本種は見出し得なかったので、まず、絶滅したと思われる。榎井(1957)は一番池直下の湿地について述べているが、そこも住宅地となっていた。榎井(1957)は久米に湿地があり、*Sphagnum* があると報告しているので、まだ本種が残存している可能性はある。愛媛県では、本種は石鎚山の高所にわずかあるのみで、東野の産地は貴重な存在であった。

Tetraphidaceae ヨツバゴケ科

2. *Tetraphis pellucida* Hedw. ヨツバゴケ 文献: 関(1953)(as *Georgia pellucida*) 小野谷、福見山;

Buxbaumiaceae キセルゴケ科

3. *Buxbaumia aphylla* Hedw. キセルゴケ(ウチワチョウジゴケ)。文献: Horikawa(1954) 湯山。1952年4月4日に、越智一男氏を案内した時の状況を、関(1984)から引用する:「湯山の河中でバスを降りて音田谷へ小さな峠を登っていた時のことである。話がたまたまキセルゴケのことに及び、筆者がまだ見たことがないという、氏は一度だけ採集した経験があると語られた。その時、峠道は乾燥した花崗岩のスギ林に差しかかっていた。氏は「キセルゴケがあったのはちょうどこんな所ですよ」といわれた。そして、5分も歩かないうちに、氏は「あっ、キセルゴケがあった」と叫ばれた。その指差された地上には、本当にキセルゴケが2~3本生えていた。これには二人ともまったく驚いてしまった」。同年、5月28日には、広島大学の堀川芳雄教授を現地に案内し、その時に採集された標本は

Horikawa(1984)に記載されている。2012年1月24日に、現地を訪れたが、峠道は拡張・舗装されて、キセルゴケのあったのり面はまったく消失していた。しかし、似たような環境は湯山の各所にあり、まだ本種が生き残っている可能性はあると思われる。

4. *Diphyscium fulvifolium* Mitt. イクビゴケ 文献: 八木(1928)(as *Webera fulvifolia*) 城山; 関(1952) 道後、湯山、伊台、アカマツ林;

Polytrichaceae スギゴケ科

5. *Atrichum rhystophyllum* (Müll.Hal.) Paris ヒメタチゴケ 標本: 興居島(2012.2.8)
6. *Atrichum undulatum* (Hedw.) P.Beauv. ナミガタチゴケ 文献: 和田(1954) 御幸寺山; 中本(1954) 二神島
7. *Pogonatum contortum* (Brid.) Lesq. コセイタカスギゴケ 文献: 関(1954b) 福見山
8. *Pogonatum inflexum* (Lindb.) Sande Lac. コスギゴケ(カギバニワスギゴケ): 八木(1928) 松山; 関(1952) 道後、湯山、伊台、アカマツ林
9. *Pogonatum spinulosum* Mitt. ハミズゴケ: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林 標本: 福見川(2012.6.10)
10. *Polytrichastrum formosum* (Hedw.) G.L.Sm. オオスギゴケ: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林

Fissidentaceae ホウオウゴケ科

11. *Fissidens bryoides* Hedw. var. *lateralis* (Broth.) Z.Iwats. & T.Suzuki ツクシホウオウゴケ 文献: 関(1952)(as *F. lateralis*) 道後、湯山、伊台;
12. *Fissidens dubius* P.Beauv. トサカホウオウゴケ 文献: 関(1952)(as *F. cristatus*) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林; Shin(1964)(as *F. cristatus*) 高縄山
13. *Fissidens geminiflorus* Dozy & Molke. ナガサキホウオウゴケ 文献: Shin(1964)(as *F. nagasakinus*) 高縄山
14. *Fissidens linearis* Brid. var. *obscurirete* (Broth. & Paris) I.G.Stone ジングウホウオウゴケ 標本: 興居島(2012.2.8)
15. *Fissidens nobilis* Griff. ホウオウゴケ 文献: 関(1952)(as *F. japonicus*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林 標本: 湯山(音田谷)(2012.1.24); 湯山(福見川)(2012.6.10).

Ditrichaceae キンシゴケ科

16. *Ceratodon purpureus* (Hedw.) Brid. ヤノウエノアカゴケ(ヤネゴケ) 標本: 興居島(2012.2.8)
17. *ditrichum macrorrhynchum* Broth. ヒメキンシゴケ 文献: 関(1952)(as *D. pallidum*) 道後、湯山、伊台 標本: 興居島(2012.2.8)

- Bryoxiphiaceae エビゴケ科  
 18. *Bryoxiphium norvegicum* (Brid.) Mitt. subsp. *japonicum* (Berggr.) A.Löve & D.Löve エビゴケ 文献: 関(1952) (as *B. savatieri*)、モミ・ツガ・シデ・ニレ林 標本: 湯山(音田谷) (2012.1.24); (福見川) (2012.6.10)

- Dicranaceae シツポゴケ科  
 19. *Campylopus japonicus* Broth. ヤマトフデゴケ 標本: 久谷 (2012.5.30)  
 20. *Dicranodontium denudatum* (Brid.) Britton ex R.S.Williams ユミゴケ 標本: 高縄山 (2012.6.9)  
 21. *Dicranum japonicum* Mitt. シツポゴケ 文献: 関(1952) 道後、湯山、伊台  
 22. *Dicranum scoparium* Hedw. カモジゴケ 文献: 関(1952) 道後、湯山、伊台  
 23. *Oncophorus crispifolius* (Mitt.) Lindb. チヂミバコブゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林; 関(1954b)  
 24. *Trematodon longicollis* Michx. ユミダイゴケ 文献: 関(1952) 道後、湯山、伊台 標本: 東野 (2012.5.29)

- Leucobryaceae シラガゴケ科  
 25. *Leucobryum juniperioides* (Brid.) Müll.Hal. ホソバオキナゴケ(ナガシラガゴケ) 文献: 八木(1928)(as *L. retractum*) 城山; 和田(1954) 御幸寺山 標本: 高縄山 (2012.6.9)  
 26. *Leucobryum scabrum* Sande Lac. オオシラガゴケ: 八木(1928) 城山, 本種が城山に分布するのは疑問である。

- Pottiaceae センボンゴケ科  
 27. *Hyophila propagulifera* Broth. ハマキゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 28. *Pottia intermedia* (Turn.) Fuernr. センボンゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 29. *Weissia controversa* Hedw. ツチノウエノゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 30. *Weissia crispa* (Hedw.) Mitt. ツチノウエノタマゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 31. *Weissia edentula* Mitt. ホソバトジクチゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)

- Grimmiaceae ギボウシゴケ科  
 32. *Grimmia pilifera* P.Beauv. ケギボウシゴケ 文献: 和田(1954) 御幸寺山(ギボウシゴケとして) 標本: 城山 (2011.12.28)  
 33. *Racomitrium fasciculare* (Hedw.) Brid. ミヤマスナゴケ 文献: 八木(1928)(as *R. varium*) 城山, 本種が城山に分布するのは疑問である。  
 34. *Racomitrium japonicum* Dozy & Molck. エゾス

- ナゴケ 文献: 八木(1928)(as *R. canescens*) 城山;  
 35. *Schistidium strictum* (Turner) Loeske ex O.Maert. ホソバギボウシゴケ 標本: 湯山(音田谷) (2012.1.24)

- Erpodiaceae ヒナノハイゴケ科  
 36. *Aulacopilum japonicum* Broth. ヒメシワゴケ 文献: 中本(1954) 二神島  
 37. *Glyphomitrium humillimum* (Mitt.) Cardot サヤゴケ 標本: 護国神社 (2011.12.28)  
 38. *Venturiella sinensis* (Vent.) Muell-Hal. ヒナノハイゴケ(クチベニゴケ) 文献: 堀川(1953b) 道後 標本: 石手川堤防 (2011.12.27)

- Funariaceae ヒョウタンゴケ科  
 39. *Physcomitrium sphaericum* (Ludw.) Fuernr. アゼゴケ 文献: 関(1952b) 祝谷、伊台。

- Bryaceae ハリガネゴケ科  
 40. *Brachymerium exile* (Dozy & Molck.) Bosch & Lac. ホソウリゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 41. *Bryum argenteum* Hedw. ギンゴケ 文献: 八木(1928) 松山 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 42. *Bryum caespiticium* Hedw. ホソハリガネゴケ 文献: 堀川(1950) 松山市 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 43. *Bryum coronatum* Schwaegr. ナガハハリガネゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)  
 44. *Bryum pseudotriquetrum* (Hedw.) Gaertn. オオハリガネゴケ 文献: Noguchi(1953) 祝谷(as *B. pseudotriquetrum* var. *elatum* Nog.\*); 関(1953) 祝谷; 1950年10月15日に、関は祝谷城市(じょういち)の新池で、池底の泥上に一面に生育しているコケを採集し、越智一男氏を通じて大分大学の野口彰教授に送付された。その結果、新変種として Noguchi(1953)で発表された。Ochi(1959)は変異の大きい *B. pseudotriquetrum* の中に含めた。新池の現状は不明である。  
 45. *Rhodobryum giganteum* (Schwägr.) Paris オオカサゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954) 明神ヶ森(1100m, 腐葉土上) 標本: 湯山(音田谷) (2012.1.24)  
 46. *Rosulabryum capillare* (Hedw.) J.R.Spence ハリガネゴケ 標本: 高浜 (2011.12.27)

- Mniaceae チョウチンゴケ科  
 47. *Plagiomnium maximoviczii* (Lindb.) T.J.Kop. ツルチョウチンゴケ 標本: 湯山(音田谷) (2012.1.24)  
 48. *Rhizomnium tuomikoskii* T.J.Kop. ケチョウチンゴケ 標本: 湯山(音田谷) (2012.1.24)  
 49. *Trachycystis microphylla* (Dozy & Molck.) Lindb. コバノチョウチンゴケ 標本: 興居島 (2012.2.8)

Rhizogoniaceae ヒノキゴケ科

50. *Pyrrhobryum dozyanum* (Sande Lac.) Manuel  
ヒノキゴケ 文献:八木(1928)(as *Rhizogonium dozyanum*) 城山,  
本種が城山に分布するのは疑問である;関(1954a)  
(as *Rhizogonium dozyanum*) 明神ヶ森(1100m,  
腐葉土上)

Bartramiaceae タマゴケ科

51. *Bartramia pomiformis* Hedw. タマゴケ 文献:  
関(1952)(as *B. crispata*) 道後、湯山、伊台。標  
本:三坂峠(2012.5.30)

Orthotrichaceae タチヒダゴケ科

52. *Macrocoma tenuis* (Hook. & Grev.) Vitt subsp.  
*sullivantii* (Müll.Hal.) Vitt ホソミノゴケ 文  
献:関(1952)(as *Macromitrium sekii*  
Sakurai, msc) 伊台。  
53. *Macromitrium japonicum* Dozy & Molk. ミノゴ  
ケ 文献:Noguchi(1967) 松山市.. 標本:城山  
(2011.12.28)  
54. *Orthotrichum consobrinum* Cardot タチヒダゴ  
ケ 標本:護国神社(2011.12.28)

Fontinalaceae カワゴケ科

55. *Fontinalis hypnoides* C.J.Hartm. カワゴケ 文  
献:八木(1928) 松山、本種は清澄な流水中に  
生育するコケで、全国的に激減しつつある。  
1950年代に、関が探したが、すでに見つからな  
かった。

Climaciaceae コウヤノマンネングサ科

56. *Climacium japonicum* Lindb. コウヤノマンネン  
グサ 文献:関(1954b) 高縄山山頂付近、福見  
観音裏森林。

Hedwigiaceae ヒジキゴケ科

57. *Hedwigia ciliata* (Hedw.) Ehrh. ex P.Beauv. ヒ  
ジキゴケ 標本: 城山、御幸寺山(2011.12.28);  
久谷(2012.5.30)

Cryphaeaceae イトヒバゴケ科

58. *Pilotrichopsis dentata* (Mitt.)Besch. ツルゴケ  
文献:関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林; 関  
(1954b)

Leucodontaceae イタチゴケ科

59. *Leucodon atrovirens* Nog. イボヤマトイタチゴ  
ケ 文献:関(1952) 湯山、ブナ林

Trachypodaceae ムジナゴケ科

60. *Duthiella flaccida* (Cardot) Broth. ノコギリゴケ  
文献:関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林  
61. *Duthiella speciosissima* Broth. ex Card. マツム

ラゴケ 文献:堀川(1953a) 河中~オンダ谷..  
標本:湯山(福見川)(2012.6.10)

62. *Trachypus humilis* Lindb. ホソムジナゴケ 文  
献:関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林

Pterobryaceae ヒムロゴケ科

63. *Pterobryum arbuscula* Mitt. ヒムロゴケ 文献:  
関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林

Meteoriaceae ハイヒモゴケ科

64. *Aerobryopsis subdivergens* (Broth.) Broth. ミズ  
スギモドキ 文献:池田・西本・関(1953) 湯山  
(音田谷)、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b) 湯  
山(音田谷).  
65. *Barbella flagellifera* (Card.) Nog. キヨスミイト  
ゴケ 文献:関(1952) 湯山(音田谷)、湿潤性  
シイ・カシ林; 関(1954b)(as *B. asperifolia*) 湯山  
(音田谷). 標本:湯山(音田谷)(2012.1.24)、  
(福見川)(2012.6.10)  
66. *Barbella pendula* (Sull.)M.Fleisch. イトゴケ 文  
献:関(1954a) 明神ヶ森; 関(1954b) 北三方ヶ  
森、明神ヶ森。  
67. *Chrysocladium retrorsum* (Mitt.) M.Fleisch. ソ  
リシダレゴケ 文献:関(1952) 湯山(杉立、貴布  
禰神社)、乾燥性シイ・カシ林; 関(1954b)  
68. *Dicradiella trichophora* (Mont.)Redf. & B.C.Tan  
キヌヒバゴケ 文献:関(1954b)(as *Barbella*  
*determesii*) 湯山(音田谷)  
69. *Meteorium buchananii* (Broth.)Broth. subsp.  
*helminthocladulum* (Card.)Nog. コハイヒモゴケ  
文献:関(1952)(as *M. helminthocladulum*) 湯山、  
湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *M.*  
*helminthocladulum*).  
70. *M. miquelianum* (Muell. Hal.)M. Fleisch. subsp.  
*atrovariegatum* (Card. Et Ther.)Nog. オオ  
ハイヒモゴケ 文献:関(1954a)(as *M.*  
*miquelianum*) 湯山(音田谷)  
71. *Pseudobarbella levieri* (Renauld & Card.)Nog. タ  
カサゴサガリゴケ 文献:池田・西本・関(1953)  
湯山(音田谷)、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)  
湯山(音田谷).  
72. *Trachycladiella aurea* (Mitt.) M. Menzel. ヒロハ  
シノブイトゴケ 文献:関(1952)(as *Floribundaria*  
*nipponica*) 湯山(音田谷)、湿潤性シイ・カシ  
林.; 関(1954b) (as *Floribundaria nipponica*)  
湯山(音田谷). 標本:湯山(音田谷)  
(2012.1.24)

Neckeraceae ヒラゴケ科

73. *Homaliodendron flabellatum* (Sm.) M.Fleisch.  
キダチヒラゴケ 文献:Horikawa(1954)(as *H.*  
*scalpel-lifolium*) 湯山; 関(1952)(as *H.*  
*scalpellifolium*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林; 関  
(1954b) 福見観音裏森林。

74. *Neckera flexiramea* Cardot コメリンスゴケ 文献: 関(1952) 湯山(杉立、貴布禰神社)、乾燥性シイ・カシ林; 関(1954b).
75. *Neckera humilis* Mitt. チャボヒラゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林
76. *Neckera konoii* Broth. ex Cardot タカネメリンスゴケ 標本: 高縄山(2012.6.9)
77. *Neckeropsis nitidula* (Mitt.) M.Fleisch. リボンゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
- Thamnobryaceae オオトラノオゴケ科
78. *Thamnobryum subseriatum* (Mitt. ex Sande Lac.) B.C.Tan オオトラノオゴケ 文献: 関(1954b)(as *Thamnium sandei*). 標本: 三坂峠旧道(2012.5.30)
- Lembophyllaceae トラノオゴケ科
79. *Dolichomitriopsis diversiformis* (Mitt.) Nog. コクサゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林
80. *Isothecium subdiversiforme* Broth. ヒメコクサゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林
81. *Neobarbella pilifera* (Broth. & Yasuda) Nog. ケサガリゴケ 文献: Noguchi(1970)(as *Isotheciopsis pilifera*) 湯山(音田谷)、
- Hookeriaceae アブラゴケ科
82. *Hookeria acutifolia* Hook. & Grev. アブラゴケ 文献: 関(1952) (as *H. nipponensis*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
- Hypopterygiaceae クジャクゴケ科
83. *Hypopterygium japonicum* Mitt. ヒメクジャクゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b) 湯山(宿野々).
84. *Hypopterygium tenellum* Muell. Hal. シナクジャクゴケ 文献: 関(1954b)(as *H. ceylanicum*) 湯山(宿野々).
- Theliaceae ヒゲゴケ科
85. *Fauriella tenuis* (Mitt.) Cardot エダウロコゴケモドキ 標本: 高縄山(2012.6.9)
- Fabroniaceae コゴメゴケ科
86. *Fabronia matsumurae* Besch. コゴメゴケ 標本: 石手川堤防(2011.2.27)
- Leskeaceae ウスグロゴケ科
87. *Okamuraea hakoniensis* (Mitt.) Broth. オカムラゴケ 文献: 関(1954b) 明神ヶ森～音田谷
- Thuidiaceae シノブゴケ科
88. *Anomodon giraldui* Müll.Hal. オオギボウシゴケ
- モドキ 文献: 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林.
89. *Boulaya mittenii* (Broth.) Card. チャボスズゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林; 関(1954b) 北三方ヶ森、高縄山、福見山～明神ヶ森.
90. *Claopodium aciculum* (Broth.) Broth. ハリゴケ 文献: Noguchi(1964) 松山市. 標本: 興居島(2012.2.8)
91. *Haplocladium angustifolium* (Hampe & Müll.Hal.) Broth. ノミハニワゴケ 標本: 興居島(2012.2.8)
92. *Haplohymenium triste* (Ces.) Kindb. イワイトゴケ 文献: 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林
93. *Herpetineuron toccoae* (Sull. & Lesq.) Cardot ラセンゴケ 文献: 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林; 関(1954b) 北三方ヶ森
94. *Thuidium cymbifolium* (Dozy & Molk.) Dozy & Molk. ヒメシノブゴケ 標本: 湯山(音田谷)(2012.1.24)
95. *Thuidium kanedae* Sakurai トヤマシノブゴケ 文献: 関(1952)(as *T. vridiforme*) 道後、湯山、伊台; 関(1952) (as *T. toyamae*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
96. *Thuidium pristocalyx* (Müll.Hal.) A.Jaeger アオシノブゴケ 標本: 湯山(河中)(2012.1.24)
- Amblystegiaceae ヤナギゴケ科
97. *Campyliadelphus chrysophyllus* (Brid.)Kanda コガネハイゴケ 標本: 三坂峠(岩壁、700m)(2012.5.30)
- Brachytheciaceae アオギヌゴケ科
98. *Brachythecium buchananii* Jaeger ナガヒツジゴケ 文献: 関(1952)(as *B. salebrosum*) 道後、湯山、伊台、アカマツ林;
99. *Brachythecium garovaglioides* Müll.Hal. ケヒツジゴケ 標本: 祝谷(2011.12.28)
100. *Brachytehsium moriense* Besch. ヒツジゴケ 文献: 八木(1928) 城山、本種が愛媛県に分布することは疑問である。
101. *Brachythecium plumosum* (Hedw.) Schimp. ハネヒツジゴケ 文献: 関(1954b) 湯山
102. *Brachythecium populeum* (Hedw.) Bruch & Schimp. アオギヌゴケ 文献: 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林; 中本(1954) 二神島
103. *Bryhnia novae-angliae* (Sull. et Lesq.) Grout. ヤノネゴケ 標本: 東野(一番池)(2012.5.29), 湯山(福見川)(2012.6.10)
104. *Eurhynchium laxirete* Broth. ex Card. ナガスジミカヅキゴケ 標本: 興居島(2012.2.8)
105. *Eurhynchium savatieri* Schimp. ex Besch. ツクシナギゴケ 標本: 興居島(2012.2.8)
106. *Myuroclada maximowiczii* (Borszcz.) Steere &

- W.B.Schofield ネズミノオゴケ 文献:八木 (1928)(as *M. concinnum*) 城山, 和名がヒメトラノゴケとなっているが、学名が一致するので本種であろう。標本:湯山(河中)(2012.1.24)
107. *Rhynchostegium inclinatum* (Mitt.)A.Jaeger カヤゴケ 標本:興居島(2012.2.8)
108. *Rhynchostegium pallidifolium* (Mitt.) A.Jaeger コカヤゴケ 標本:興居島(2012.2.8)
109. *Rhynchostegium riparioides* (Hedw.) Cardot アオハイゴケ 文献:八木(1928)(as *Oxyrrhynchium rusciforme*) 城山.
- Entodontaceae ツヤゴケ科
110. *Entodon challengerii* (Paris)Card. ヒロハツヤゴケ 標本:興居島(2012.2.8)
111. *Entodon flavescens* (Hook.) A.Jaeger エダツヤゴケ 文献:八木(1928)(as *E. ramulosus*) 城山; 関(1954b)(as *E. ramulosus*) ブナ型群団.
112. *Entodon sullivantii* (Müll.Hal.) Lindb. ホソミツヤゴケ 文献:八木(1928)(as *E. attenuatus*) 城山. 標本:興居島(2012.2.8)
- Plagiotheciaceae サナダゴケ科
113. *Plagiothecium euryphyllum* (Cardot & Thér.) Z.Iwats. オオサナダゴケモドキ 標本:高縄山(2012.6.9)
114. *Plagiothecium nemorale* (Mitt.) A.Jaeger ミヤマサナダゴケ 標本:道後公園(2011.12.28)
- Sematophyllaceae ナガハシゴケ科
115. *Sematophyllum pulchellum* (Card.)Broth. セイナンナガハシゴケ 文献:Seki(1968) 松山市. 標本:護国神社、道後公園(2011.12.28); 興居島(2012.2.8)
116. *Sematophyllum subhumile* (Müll.Hal.) M.Fleisch. subsp. *japonicum* (Broth.)Seki ナガハシゴケ 文献:関(1954b)(as *S. japonicum*); Seki(1968) 松山市. 標本:興居島(2012.2.8)
- Hypnaceae ハイゴケ科
117. *Brotherella henonii* (Duby) M.Fleisch. カガミゴケ 文献:関(1952) 道後、湯山、伊台、アカマツ林. 標本:高縄山(2012.6.9)
118. *Eurohypnum leptothallum* (Muell.Hal.)Ando ミヤマハイゴケ 文献:関(1952)(as *Hypnum tereticaule*) 道後、湯山、伊台、アカマツ林. 標本:城山、御幸寺山(2011.12.28); 久谷(2012.5.30)
119. *Homomallium connexum* (Card.)Broth. エゾキヌタゴケ 標本:興居島(2012.2.8)
120. *Hypnum oldhamii* (Mitt.) A.Jaeger & Sauerb. ヒメハイゴケ 文献:関(1954a)明神ヶ森. 標本:興居島(2012.2.8)
121. *Hypnum plumaeforme* Wilson var. *plumaeforme* ハイゴケ 文献:関(1952) 道後、湯山、伊台、アカマツ林.
122. *Hypnum plumaeforme* Wilson var. *minus* Broth. ex Ando コハイゴケ 標本:道後公園(2011.12.28)
123. *Hypnum tristo-viride* (Broth.) Paris イトハイゴケ 標本:高縄山(2012.6.9)
124. *Isopterygium minutirameum* (Müll.Hal.) A.Jaeger シロハイゴケ 標本:興居島(2012.2.8)
125. *Pseudotaxiphyllum pohliaecarpum* (Sull. & Lesq.) Z.Iwats. アカイチイゴケ 文献:関(1954b)(as *Isopterygium textori*) 城山.
126. *Pseudotaxiphyllum densus* (Card.)Z.Iwats. ヒダハイチイゴケ 標本:城山(2011.12.28); 興居島(2012.2.8)
127. *Pylaisiadelphina tenuirostris* (Bruch & Schimp.) Buck コモチイトゴケ 標本:護国神社(2011.12.28); 興居島(2012.2.8)
128. *Vesicularia ferriei* (Cardot & Thér.) Broth. フクロハイゴケ 文献:関(1952)(as *V. japonica*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
129. *Wijkia hornschurchii* (Dozy et Molck.)H.A.Crum ナンヨウトゲハイゴケ 標本:三坂峠(湿岩上、700m).
- Hylacomiaceae イワダレゴケ科
130. *Hylacomium brevirostre* (Brid.) Bruch & Schimp. var. *cavifolium* (Sande Lac.) Nog. フトリユウビゴケ 文献:関(1952)(as *H. umbratum*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *Loeskeobryum cavifolium*) 福見山~明神ヶ森.
- Hepaticopsida 苔綱
- Herbertaceae キリシマゴケ科
131. *Herbertus aduncus* (Dicks.)Gray キリシマゴケ(マタバゴケ) 文献:関(1954a) 白濁(1100m, 花崗岩上).
- Pseudolepicoleaceae マツバウロコゴケ科
132. *Blepharostoma minus* Horik. チャボマツバウロコゴケ 文献:Tokui 1951 (as *B. trichophyllum*) 道後. 標本:興居島(2012.2.8)
- Trichocoleaceae ムクムクゴケ科
133. *Trichocolea tomentella* (Ehrh.) Dumort ムクムクゴケ 文献:関(1952)湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林;関(1954b) 湯山(音田谷).
- Lepidoziaceae ムチゴケ科
134. *Bazzania japonica* (Sande Lac.) Lindb. ヤマトムチゴケ 文献:Tokui 1951 太山寺山
135. *Bazzania pompeana* (Sande Lac.) Mitt. ムチゴケ 文献:関(1952) 道後、湯山、伊台;
136. *Bazzania tridens* (Reinw., Blume & Nees) Trevis. コムチゴケ 文献:Tokui 1951 (as *B. albicans*)道

- 後、恵良山; 関(1952) (as *B. albicans*) 道後、湯山、伊台;
137. *Kurzia makinoana* (Steph.) Grolle コスギバゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Lepidozia tosana* and *Microlepidozia makinoana*) 道後、北三方ヶ森
138. *Lepidozia vitrea* Steph. スギバゴケ 文献: Tokui 1951 太山寺山
- Calypogeiaceae ツキヌキゴケ科
139. *Calypogeia tosana* (Steph.) Steph. トサハラゴケモドキ: Tokui 1951 (as *C. tosana* f. *parva*) 北三方ヶ森; 関(1952) 道後、湯山、伊台;
- Cephaloziaceae ヤバネゴケ科
140. *Cephalozia catenulata* (Heubner) Lindb. subsp. *nipponica* (S. Hatt.) Inoue カタヤバネゴケ 文献: 関(1952) (as *C. nipponica*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林.
141. *Cephalozia otaruensis* Steph. オタルヤバネゴケ 文献: 井上(1896) (as *C. bicuspidata*) 湯山; Tokui 1951 北三方ヶ森
142. *Cephalozia zoopsioides* Horik. ミジンコヤバネゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林.
143. *Nowellia curvifolia* (Dicks.) Mitt. フクロヤバネゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林.
144. *Odontoschisma denudatum* (Mart.) Dumort. クチキゴケ 文献: 関(1954b) 湯山(音田谷)
145. *Schiffneria hyaline* Steph. シフネルゴケ 標本: 湯山(福見川)(2012.6.10)
- Jungermanniaceae ツボミゴケ科
146. *Jamesoniella autumnalis* (DC.) Steph. var. *nipponica* (S.Hatt.) S.Hatt. ミヤマウロコゴケ 文献: Tokui 1951 高縄山、恵良山、北三方ヶ森
147. *Jungermannia subulata* A.Evans ツツソロイゴケ 文献: Tokui 1951 (as *J. lanceolata*) 道後
- Gymnomitriaceae ミゾゴケ科
148. *Marsupella emarginata* (Ehrh.) Dumort. subsp. *tubulosa* (Steph.) N.Kitag. タカネミゾゴケ 文献: 関(1952) (as *M. tubulosa*) 道後、湯山、伊台.
- Scapaniaceae ヒシヤクゴケ科
149. *Diplophyllum serrulatum* (Müll.Frib.) Steph. ノコギリコオイゴケ 文献: 関(1952) 道後、湯山、伊台; 関(1954b)
150. *Scapania parvitexta* Steph. コアミヒシヤクゴケ 文献: Tokui 1951 (as *S. parvitexta* var. *minor*) 北三方ヶ森
- Geocalycaceae ウロコゴケ科
151. *Chiloscyphus polyanthos* (L.) Corda フジウロコゴケ 文献: 八木(1928) 城山; Tokui 1951 北三方ヶ森
152. *Chiloscyphus minor* (Nees) J.J.Engel & R.M.Schust. ヒメトサカゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Lophocolea minor*) 高縄山、恵良山、城山. 標本: 興居島(2012.2.8)
153. *Heteroscyphus argutus* (Reinw., Blume et Nees) Schiffn. ウロコゴケ 文献: 八木(1928) (as *Chiloscyphus argutus*) 城山.
154. *Heteroscyphus coalitus* (Hook.) Schiffn. オオウロコゴケ 文献: Tokui 1951 (as *H. bescherelei*) 高縄山、恵良山、北三方ヶ森
155. *Heteroscyphus planus* (Mitt.) Schiffn. ツクシウロコゴケ 文献: Tokui 1951 道後、恵良山、北三方ヶ森; 関(1952) 道後、湯山、伊台. 標本: 興居島(2012.2.8)
156. *Lophocolea heterophylla* (Schrad.) Dumort. トサカゴケ 文献: Tokui 1951 高縄山、北三方ヶ森
- Plagiochilaceae ハネゴケ科
157. *Plagiochila ovalifolia* Mitt. マルバハネゴケ 文献: Tokui 1951 (as *P. ovalifolia* var. *fauriana*) 高縄山; 関(1954b) 湯山(宿野々)
158. *Plagiochila sciophila* Nees ex Lindenb. コハネゴケ 文献: Tokui 1951 (as *P. japonica*) 恵良山、北三方ヶ森
- Radulaceae ケビラゴケ科
159. *Radula constricta* Steph. クビレケビラゴケ 文献: Tokui 1951 (as *R. lindbergiana*) 高縄山、(as var. *onoii* Hatt.) 城山、正岡、高縄山、北三方ヶ森; 関(1952) (as *R. lindbergiana*) 湯山、乾燥性シイ・カシ林;
160. *Radula japonica* Gottsche ex Steph. ヤマトケビラゴケ 文献: Tokui 1951 道後、恵良山、北三方ヶ森; 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林;
161. *Radula kojana* Steph. コウヤケビラゴケ 文献: Tokui 1951 恵良山; 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
162. *Radula okamurana* Steph. オカムラケビラゴケ 文献: 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林;
163. *Radula oyamensis* Steph. ヒメケビラゴケ 文献: Tokui 1951 太山寺山、北三方ヶ森; 関(1952) 湯山、乾燥性シイ・カシ林;
164. *Radula perrottetii* Gottsche ex Steph. オオケビラゴケ 文献: 関(1952) (as *R. valida*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
- Lepidolaenaceae サワラゴケ科
165. *Trichocoleopsis sacculata* (Mitt.) S.Okamura イヌムクムクゴケ 文献: 関(1954a) 明神ヶ森(1200m, 朽木上)、白漬(1100m, 朽木上); 関(1954b) 北三方ヶ森、白漬.

Porellaceae クラマゴケモドキ科

166. *Macvicaria ulophylla* (Steph.) S.Hatt. チヂミカヤゴケ 文献: Tokui 1951 城山、高縄山、恵良山、北三方ヶ森
167. *Porella actifolia* (Lehm. & Lindenb.) Trevis. subsp. *tosana* (Steph.) S. Hatt. トサクラマゴケモドキ 文献: 関(1952)(as *P. tosana*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林、古生層岩上
168. *Porella grandiloba* Lindb. オオクラマゴケモドキ 文献: 井上(1896)(as *Madotheca parvistipula*) 道後公園.
169. *Porella japonica* (Sande Lac.) Mitt. ヤマトクラマゴケモドキ 文献: Tokui 1951 高縄山; 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林、古生層岩上
170. *Porella perrottetiana* (Mont.) Trevis. クラマゴケモドキ 文献: Horikawa(1954)(as *Madotheca perrottetiana*) ; 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林、古生層岩上
171. *Porella vernicosa* Lindb. ニスビキカヤゴケ 文献: Tokui 1951; 高縄山; 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林、古生層岩上

Frullaniaceae ヤスデゴケ科

172. *Frullania amplicrania* Steph. クロヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 高縄山
173. *Frullania davurica* Hampe アカヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 北三方ヶ森
174. *Frullania diversitexta* Steph. ヒメヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 正岡、(as var. *yoshinagana* Hatt.) 高縄山、北三方ヶ森; 和田(1954) 御幸寺山
175. *Frullania ericoides* (Nees) Mont. ミドリヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 (as *F. squarrosa*) 鹿島、高縄山、恵良山、北三方ヶ森。
176. *Frullania fauriana* Steph. ヒロハヤスデゴケ 文献: 関(1952) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林
177. *Frullania monocera* (Tayl.) Tayl. ヒラキハヤスデゴケ 文献: 関(1952)(as *F. hampeana*) 湯山、モミ・ツガ・シデ・ニレ林
178. *Frullania muscicola* Steph. カラヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 (also as *F. truncatifolia*) 鹿島、正岡、高縄山、北三方ヶ森、城山; 関(1952) 道後、湯山、伊台;
179. *Frullania osumiensis* (S.Hatt.) S.Hatt. オオスミヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 (as *F. hampeana* var. *osumiensis*) 北三方ヶ森
180. *Frullania parvistipula* Steph. ヒメアカヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 城山; 関(1952) 道後、湯山、伊台
181. *Frullania pedicellata* Steph. クロアオヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 恵良山、北三方ヶ森
182. *Frullania schensiana* C.Massal. オンタケヤス

デゴケ 文献: Hattori(1944) (as *Frullania*

*ontakensis* Steph. *f. punctata* S.Hatt. \* ホシオンタケヤスデゴケ Hattori(1944)は次のように述べている:「本種ハ吉永虎馬氏所蔵ノ標本ニ基ケガ、元来おんたけやすでごけハ高山地帯ニ分布スルモノナルニ対シ、本品ハ伊予松山市産トナツテ居る」。Coll. ign.(採集者不明)となっているが、井上(1896)[井上は吉永氏の旧姓]から判断すると、奥平幹一氏の採集ではないかと思われる。井上(1896)には、下浮穴郡三内村での奥平氏の採集品が3点ある。三内村は松山から岩屋山へ行く途中にある井内峠のある村で、奥平氏が岩屋山へ行く経路であったと思われる。ホシオンタケヤスデゴケのタイプ標本が「松山市」となっているのは、多分、吉永氏の誤記ではないかと思われる。ホシオンタケヤスデゴケは奥平氏によって井内峠付近で採集されたもので、松山市域の採集ではない可能性が高い。Tokui(1951)は *Frullania ontakensis* を石槌山と面河溪から報告している。

183. *Frullania tamarisci* (L.) Dumort. subsp. *obscura* (Verd.) S.Hatt. シダレヤスデゴケ 文献: 八木(1928) (as *F. moniliata*) 城山; Tokui 1951 (as *F. makinoana* and *F. moniliata* subsp. *obscura*) 太山寺山、正岡、高縄山、北三方ヶ森
184. *Frullania usamiensis* Steph. ウサミヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 恵良山
185. *Frullania valida* Steph. シコクヤスデゴケ 文献: Tokui 1951 高縄山

Jubulaceae ヒメウルシゴケ科

186. *Jubula japonica* Steph. ヒメウルシゴケ 文献: Tokui 1951 恵良山; 関(1952)(as *J. hutchinsiae* ssp. *japonica*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林

Lejeuneaceae クサリゴケ科

187. *Acrolejeunea pusilla* (Steph.) Grolle et Gradst. ヒメミノリゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Ptychocoleus nipponicus*) 城山、正岡; 関(1952)(as *P. nipponicus*) 湯山、乾燥性シイ・カシ林; 玉木(1953)(as *Leucolejeunea* sp.) 中島; 関(1954b) (as *P. nipponicus*) 鹿島。 標本: 石手川堤防(2011.12.27)
188. *Cheilolejeunea trapezia* (Nees) R.M.Schust. et Kachroo シゲリゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Pycnolejeunea tosana*) 恵良山、北三方ヶ森、太山寺山; 関(1952)(as *P. tosana*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林;
189. *Cololejeunea japonica* (Schiffn.) Mizut. ヤマトヨウジョウゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Leptocolea japonica*) 道後、城山、恵良山
190. *Cololejeunea longifolia* (Mitt.) Benedix ヒメクサリゴケ 文献: 関(1952)(as *Physocolea minuta*) 湯山、ヤブツバキ、シロダモ等の葉上、湿潤性



- シイ・カシ林; 関(1954b)(as *P. minuta*) 湯山(音田谷、宿野々).
191. *Cololejeunea macounii* (Spruce ex Underw.) A.Evans イボヒメクスリゴケ 文献: Tokui 1951 (as *C. rupicola*); 関(1954b)(as *Physocolea handelii*) 湯山(音田谷、宿野々)
192. *Cololejeunea minutissima* (Smith)Schiffn. マルバヒメクスリゴケ 文献: 関(1952)(as *Physocolea magniloba*) 湯山(榎ヶ峠)、ホソバタブの葉上、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *P. orbiculata*) 湯山(音田谷、宿野々)..
193. *Cololejeunea planissima* (Mitt.)Abeyw. ミヤジマヨウジョウゴケ 文献: 関(1952)(as *Leptocolea aoshimensis*) 湯山(奥城山、シロダモ葉上)、(as *L. miyajimensis*) 湯山(宿野々、樹皮上)、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *L. miyajimensis*, *Leptocolea aoshimensis*) 湯山(音田谷、宿野々)..
194. *Cololejeunea raduliloba* Steph. ナガシタバヨウジョウゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Leptocolea longilobula*) 道後; 関(1952)(as *L. longilobula*) 湯山、タラヨウ、ヤブツバキ等葉上、湿潤性シイ・カシ林; 玉木(1953) (as *Leptocolea longilobula*) 中島; 関(1954b)(as *Leptocolea longilobula*) 湯山(音田谷、宿野々); Mizutani(1961) Matsuyama.
195. *Cololejeunea shikokiana* (Horik.) Hatt. シコクヒメクスリゴケ 文献: 関(1952)(as *Physocolea shikokiana*) 湯山(宿野々、榎ヶ峠、音田谷)、シシガシラ、テイカカズラ、イタビカズラ、トウゲシバ等の葉上、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *P. shikokiana*) 湯山(音田谷、宿野々).
196. *Cololejeunea spinosa* (Horik.) Pande & Misra ウニバヨウジョウゴケ 文献: 関(1952) (as *Physocolea spinosa*) 湯山(宿野々)、コウヤコケシノブの葉上、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b) (as *P. spinosa*) 湯山(音田谷、宿野々).
197. *Cololejeunea trichomanis* (Gottsche) Steph. ヨウジョウゴケ 文献: 関(1952)(as *Leptocolea goebelii*) 湯山(音田谷)、カンスゲ、キジノオ等の葉上、湿潤性シイ・カシ林. 標本: 興居島(岩神社、倒木上) (2012.2.8)
198. *Lejeunea aquatica* Horik. サワクスリゴケ 文献: Tokui 1951 恵良山; 関(1952)湯山、湿潤性シイ・カシ林、
199. *Lejeunea compacta* (Steph.) Steph. コミミゴケ 文献: 関(1954b)(as *Eusmolejeunea*) 湯山(宿野々).
200. *Lejeunea discreta* Lindenb. カマハコミミゴケ 文献: Tokui 1951 (as *L. vaginata*) 高縄山、恵良山、太山寺山; 関(1952)(as *L. vaginata*) 湯山、乾燥性シイ・カシ林.
201. *Lejeunea japonica* Mitt. ヤマトコミミゴケ 文献: Tokui 1951 (as *L. nipponica*) 道後、北三方ヶ森
202. *Lejeunea parva* (S.Hatt.) Mizut. イトコミミゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Microlejeunea rotundistipula* f. *parva* Hatt.) 北三方ヶ森
203. *Lejeunea planiloba* A.Evans シゲリゴケモドキ 文献: 関(1952)湯山(横谷、末、音田谷)、ヤブソテツ、アリドウシ、ホソバタブ等葉上、湿潤性シイ・カシ林.
204. *Lejeunea ulicina* (Tayl.) Tayl. ex Gottsche, Lindenb. et Nees コクスリゴケ 文献: 堀川(1954)(as *Microlejeunea punctiformis*) 興居島(黒崎). 標本: 興居島(小富士) (2012.2.8)
205. *Leptolejeunea elliptica* (Lehm. & Lindenb.) Schiffn. カビゴケ 文献: 関(1952)(as *Leptolejeunea subacuta*) 湯山(奥城山、宿野々、音田谷)、ヤブツバキ、ヒサカキ、ヤブニツケイ、モミ等の葉上、湿潤性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *L. subacuta*) 湯山(音田谷、宿野々). 標本: 湯山(河中、音田谷) (2012.1.24); 湯山(福見川) (2012.6.10).
206. *Nipponolejeunea pilifera* (Steph.) S.Hatt. ケシゲリゴケ 文献: 関(1954a) 白漬 (1100m, 樹皮上);
207. *Trocholejeunea sandvicensis* (Gottsche) Mizut. フルノコゴケ 文献: Tokui 1951 (as *Brachiolejeunea sandvicensis*) 鹿島、道後、高縄山; 関(1952)(as *Brachiolejeunea sandvicensis*) 湯山、乾燥性シイ・カシ林; 関(1954b)(as *B. sandvicensis*). 標本: 石手川堤防 (2011.12.27).

## Haplomitriaceae コマチゴケ科

208. *Haplomitrium mnioides* (Lindb.) R.M.Schust. コマチゴケ 文献: 関(1952)(as *Calobryumm mnioides*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林

## Pelliaceae ミズゼニゴケ科

209. *Pellia endiviifolia* (Dicks.) Dumort. ホソバミズゼニゴケ 文献: Tokui 1951 (as *P. fabroniana*) 高縄山、恵良山、北三方ヶ森; 関(1952)(as *P. fabroniana*) 湯山、湿潤性シイ・カシ林
210. *Pellia epiphylla* (L.) Corda ミズゼニゴケ 文献: 井上(1896)湯山. 本種は北海道に稀に分布するもので、多分、*P. neesiana* エゾミズゼニゴケであろう。

## Makinoaceae マキノゴケ科

211. *Makinoa crispata* (Steph.) Miyake マキノゴケ 文献: 関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林. 標本: 湯山(河中) (2012.1.24)

## Pallaviciniaceae クモノスゴケ科

212. *Pallavicinia lyellii* (Hook.) Carruth. ヤハズゴ

- ケ 文献:関(1952) 湯山、湿潤性シイ・カシ林  
 213. *Pallavicinia subciliata* (Austin) Steph. クモノス  
 ゴケ 標本:湯山(福見川)(2012.6.10)

Blasiaceae ウスバゼニゴケ科

214. *Blasia pusilla* L. ウスバゼニゴケ 文献:井上  
 (1896) 湯山; Horikawa(1951) 興居島; Tokui  
 1951 恵良山

Aneuraceae スジゴケ科

215. *Riccardia multifida* (L.) Gray subsp. *decrescens*  
 (Steph.) Furuki クシノハスジゴケ 標本:湯山  
 (河中)(2012.1.24)

Metzgeriaceae フタマタゴケ科

216. *Metzgeria lindbergii* Schiffn. ヤマトフタマタゴ  
 ケ 文献:Tokui 1951 (as *M. himalayensis*) 高縄  
 山; 関(1952)(as *M. himalayensis*) 湯山、湿潤性  
 シイ・カシ林.  
 217. *Metzgeria temperata* Kuwah. コモチフタマタゴ  
 ケ 文献:Tokui 1951 (as *M. fruticulosa*) 高縄  
 山

Conocephalaceae ジャゴケ科

218. *Conocephalum conicum* (L.) Underw. ジャゴケ  
 文献:井上(1896)(as *Fegatella conica*) 湯  
 山; 八木(1928) 高縄山. 標本:湯山(河中)  
 (2012.1.24); 湯山(福見川)(2012.6.10)  
 219. *Conocephalum japonicum* (Thunb.) Grolle ヒメ  
 ジャゴケ 文献:井上(1896)(as *Sandea*  
*japonica*) 湯山; 八木(1928) 高縄山. 標本:  
 興居島(2012.2.8); 三坂峠(湿岩壁、700m)  
 (2012.5.30)

Wiesnerellaceae アズマゼニゴケ科

220. *Dumortiera hirsuta* (Sw.) Nees ケゼニゴケ:井  
 上(1896) 湯山; Tokui 1951 北三方ヶ森  
 221. *Wiesnerella denudate* (Mitt.) Steph. アズマゼニ  
 ゴケ 標本:湯山(河中)(2012.1.24); 湯山(福  
 見川)(2012.6.10)

Aytoniaceae ジンガサゴケ科

222. *Reboulia hemisphaerica* (L.) Raddi subsp.  
*orientalis* R.M.Schust. ジンガサゴケ 文献:  
 八木(1928) 高縄山; 和田(1954) 御幸寺山;

Marchantiaceae ゼニゴケ科

223. *Marchantia paleacea* Bertol. subsp. *diptera*  
 (Nees & Mont.) Inoue フタバネゼニゴケ 文  
 献:Tokui 1951 (as *M. diptera*) 恵良山、道後、  
 北三方ヶ森. 標本:三坂峠(地上、700m).  
 224. *Marchantia polymorpha* L. ゼニゴケ 文献:  
 井上(1896) 湯山; 八木(1928) 伊台. 標本:  
 興居島(2012.2.8); 湯山(福見川)(2012.6.10)

Ricciaceae ウキゴケ科

225. *Riccia fluitans* L. ウキゴケ 文献:八木  
 (1928) (as *R. canaliculata*) 石手川  
 226. *Riccia glauca* L. ハタケゴケ 文献:関(1953)  
 祝谷、伊台.  
 227. *Riccia nipponica* S.Hatt. カンハタケゴケ 文  
 献:Tokui 1951 北三方ヶ森  
 228. *Ricciocarpos natans* (L.) Corda イチョウウキ  
 ゴケ 文献:八木(1928) 伊台; Tokui 1951 道  
 後

Anthocerotopsida ツノゴケ綱

Anthocerotaceae ツノゴケ科

229. *Folioceros fuciformis* (Mont.) D.C.Bharadwaj ミ  
 ヤベツノゴケ 文献:八木(1928)(as ツノゴケ  
*Anthoceros communis* Steph.) 興居島、当時は  
 まだツノゴケ類の分類が不完全で、多分、ミヤ  
 ベツノゴケと思われる。Tokui 1951 (as  
*Aspiromitus miyabeanus*) 恵良山  
 230. *Megaceros flagellaris* (Mitt.) Steph. アナナシ  
 ツノゴケ 文献:関(1952)(as *M. tosanus*) 湯山、  
 湿潤性シイ・カシ林.

Nothothyladaceae ツノゴケモドキ科

231. *Nothothylas orbicularis* (Schwein.) Sull. ツノゴ  
 ケモドキ 文献:関(1953)(as *N. japonica*) 祝  
 谷、伊台.

謝辞

松山市のコケ植物の調査・研究については、松山  
 市立御幸中学・愛媛県立松山東高等学校に在学中  
 は、越智一男先生と得居衛先生から、広島大学に入  
 学してからは、堀川芳雄先生、鈴木兵二先生、安藤  
 久次先生から、ご懇篤なご指導を賜った。これらの  
 諸先生方はすでに故人となられたが、ここに謹んで  
 深く感謝申し上げたい。文献や資料の整理で、広島  
 大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所  
 の内田慎治氏と久保晴盛氏にお世話になった。また、  
 現地調査では上村恭子氏と柳原富子氏にご協力頂  
 いた。松山東雲短期大学の松井宏光教授には、この  
 目録の取りまとめについてご高配を頂いた。ここにあ  
 わせて、あつく感謝いたしたい。

引用文献

- Hattori, S.(1944) Notulae de Hepaticis Japonicis  
 (VIII). Journ. Jap. Bot. 20:155-168.  
 堀川芳雄(1950) 長野、鳥取、広島、山口、愛媛、高  
 知県の蘚類. ヒコピア 1; 25-29.  
 Horikawa, Y.(1951) Enumeratio Bryophytarum  
 Archipelago-Japonicarum. Journ. Sci. Hiroshima  
 Univ., ser.B, Div.2, 6: 11-25.  
 堀川芳雄(1953a) 日本に於ける蘚苔植物の分布域  
 研究(第2報). 生態学会報 2:144-150.

- 堀川芳雄(1953b) 日本に於ける蘚苔植物の分布域研究(第5報). 植物生態学会報 3:135-139.
- 堀川芳雄(1954) 日本に於ける蘚苔植物の分布域研究(第6報). 植物生態学会報 4:69-71.
- 池田公明・西本恵幸・関太郎(1953) 東三方ヶ森採集記. 生物研究室 No.6, pp.15-19. 松山東高等学校生物部
- 井上虎馬(1896) 伊豫國松山附近所産地錢類. 植物学雑誌 10:365-366.
- Kamimura, M. (1952) Contributio ad Floram Hepaticarum Shikokuensem (Contribution to the Hepatic Flora of Shikoku), 185pp.+4pls., Kochi.
- 榎井秀雄(1957) 松山市内に於ける食虫植物の一観察. 生物研究室 No.9, pp.13-16 松山東高等学校生物部
- 三好保徳(1985) 奥平幹一. 愛媛県百科大事典上, p. 238, 愛媛新聞社/
- Mizutani, M.(1961) A revision of Japanese Lejeuneaceae. Journ. Hattori Bot., Lab. No. 24: 115-302.
- 中本司(1954) 線状測定法による植物群落状態調査、II. 二神島の植物群落状態測定. 生物研究室 No.7, pp.9-10, 松山東高等学校生物部
- 中本司・和田克司(1955) 線状測定法による植物群落状態調査、II. 生物研究室 No.8, pp.23-31, 松山東高等学校生物部
- Noguchi, A. (1964) A revision of the genus *Claopodium*. Journ. Hattori Bot. Lab. No. 27: 20-46.
- Noguchi, A.(1967) Musci Japonici VII. The genus *Macromitrium*. Journ Hattori Bot. Lab. No.30: 205-230.
- Noguchi, A.(1970) The moss genus *Isotheciopsis*. The Bryologist 73: 131-136:
- Ochi, H.(1959) A revision of the Bryaceae in Japan and the adjacent regions. p.79, Tottori
- 関太郎(1952) 道後・湯山・伊台蘚苔誌[愛媛県理科教育研究大会発表](未印刷)
- 関太郎(1953a) 野帳より. 生物研究室 No.6, p.3 松山東高等学校生物部
- 関太郎(1953b) レンゲ畑に於ける蘚苔類の集団分布. 生物研究室 No.6, 20-23. 松山東高等学校生物部
- 関太郎(1954a) 東三方ヶ森の蘚苔類 I. 生物研究室 No.7, 15-17. 松山東高等学校生物部
- 関太郎(1954b) 高縄半島の植物相—蘚苔類を中心として—. 生物研究室 No.7, 21-32. 松山東高等学校生物部
- Seki, T.(1968) A revision of the family Sematophyllaceae of Japan with special reference to a statistical demarcation of the family. Journ. Sci. Hiroshima Univ., ser.B, div. 2(Botany), 12: 1-80.
- 関太郎(1984) 越智一男氏(1909-1979)—日本の蘚苔学発展の一礎石としての生涯. ヒコピア 9: 165-172.
- Shin, T. (1964) Fissidentaceae of Japan. Sci. Rep. Kagoshima Univ. No.13: 55-149.
- Suzuki, H.(1958) Taxonomical studies on the Subsecunda Group of the genus *Sphagnum* in Japan with special reerence to variation and geographical distribution. Jap. Journ. Bot. 16:227-268
- 玉木芳郎(1953) 中島CAMP覚え書き. 生物研究室 No.6, 13-14,. 松山東高等学校生物部
- Tokui, M.(1951) The Hepatics of Ehime Prefectures. pp.24+2, Matsuyama
- 和田克司(1954) 線状測定法による植物群落状態調査、I. 御幸寺山南北両面植物群落状態測定. 生物研究室 No.7, pp.4-6 松山東高等学校生物部
- 八木繁一(1928) 愛媛県植物誌, pp.354+22, 松山.

関 太郎